

南部A・Bグループ

(関係市町村：五條市、野迫川村、十津川村、大淀町)

路線・地域の概要

- **関係市町村**
五條市、野迫川村、十津川村、大淀町
- **主な公共交通機関**
 - ・JR 和歌山線
 - ・近鉄 吉野線
 - ・奈良交通(八木新宮線)
 - ・五條・十津川地域連携コミュニティバス
 - ・その他コミュニティバス: ゴーちゃんバス(五條市)、村営バス(野迫川村)、十津川村営バス、よどりバス(大淀町)
 - ・デマンド交通: ゴーちゃんタクシー(五條市)、よどりタクシー(大淀町) 村営タクシー郷土号(十津川村)
- **主な利用データ**
 - ・五條駅 乗車人員 975人/日(R4)
 - ・福神駅 乗車人員 2,154人/日(R4)
 - ・奈良交通八木新宮線: 診断指標達成(R5)
 - ・五條・十津川地域連携コミュニティバス: 5診断指標のうち、平均乗車密度、利用者1人あたりの行政負担額の2つが未達成(R3~)

- **関係情報**
 - ・南和地域の中核病院である「南奈良総合医療センター」及び「五條病院」が立地している
 - ・十津川村にて、現在運行している村営タクシー郷土号の運行範囲を村外に拡大することを検討中
 - ・野迫川村にてデマンドバスの導入について検討中
 - ・R4.9月からR5.2月末まで、十津川村で路線バスで行けなかった観光地を巡る村内宿泊者用周遊観光バスを運行
 - ・奈良交通においてR4.10月から八木新宮特急バスの一部便の走行ルートと停車停留所を短縮する観光特急「やまかぜ」を運行開始
 - ・五條市山間部における市街地への移動手段確保のため、県・五條市にてデジタル施策の活用を目指した協議会を立ち上げ(R4.11月)
 - ・和歌山線五條駅、御所駅を着地とする日帰り旅行商品「駅プラン」発売(R5年秋)

令和9年度に目標とすべき状況(主な評価指標)

- ・八木新宮線: 診断指標5項目、計画輸送量15人以上の達成
- ・五條・十津川地域連携コミュニティバス: 診断指標5項目の達成

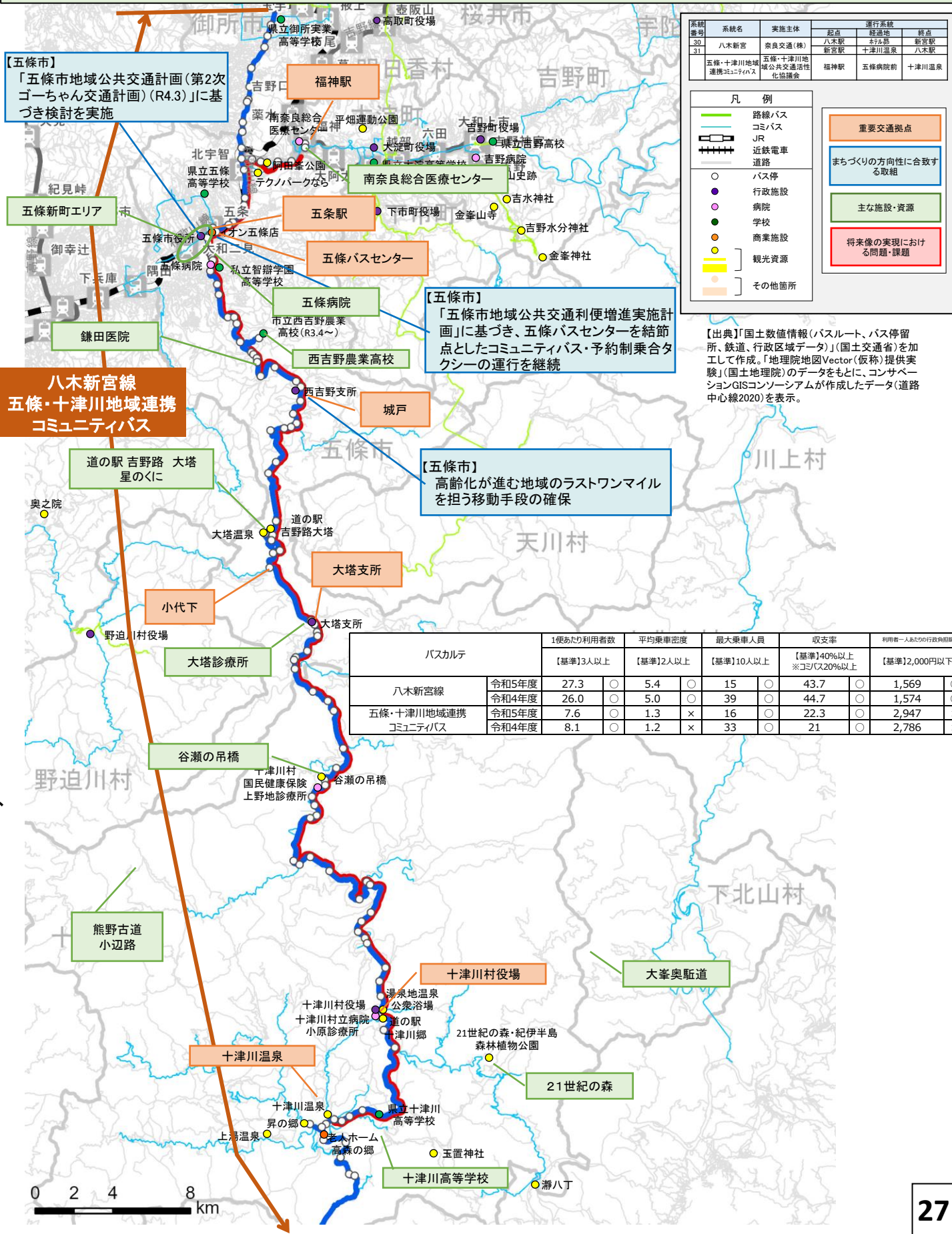
本エリアにおける公共交通の位置付けと課題

- 【位置付け】
 - 八木新宮線の五條以南は観光利用が多く、以北は通学など生活利用が多い
 - 五條・十津川地域連携コミュニティバスは、南部から乗換なしで通院できる唯一の便
 - 路線沿線には、谷瀬の吊り橋、十津川温泉等の観光施設が立地
- 【課題】
 - 自治体や事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持改善事業により運行を確保・維持する必要がある
 - 南和地域の中核病院である「南奈良総合医療センター」及び「五條病院」が立地しており、広域のアクセス向上に向けてどのように取り組みを行っていくか
 - 魅力ある観光地を観光客が公共交通で広域的に巡るための、観光施策と連携した取組の実施
 - 路線バスやコミュニティバスについて、ダイヤや乗り方について住民向けに周知が必要

取組の方向性

- 住民向け —
【目標】通院・買い物等、必要な用事を車がなくても便利に
 - 住民のニーズ把握とそのニーズに応じた交通モードの導入
 - 路線バスやコミュニティバスについて、ダイヤや利用方法(自由乗降等)について効果的な広報の実施
- 観光客向け —
【目標】公共交通を利用した滞在型観光のための取組実施
 - 観光施設と連携した滞在プランの提供
 - 拠点駅から観光施設までの移動手段の確保・充実
 - 公共交通の利用に繋がる観光イベントの企画・発信を強化

まちづくりの方向性(イメージ図)



系統番号	系統名	実施主体	運行系統		
			起点	経路地	終点
30	八木新宮	奈良交通(株)	八木駅	八木新宮	新宮駅
31	五條・十津川地域連携コミュニティバス	五條・十津川地域公共交通活性化協議会	福神駅	五條病院前	十津川温泉

凡例	
	路線バス
	コミュニティバス
	JR
	近鉄電車
	道路
	バス停
	行政施設
	病院
	学校
	商業施設
	観光資源
	その他箇所

重要交通拠点	
	まちづくりの方向性に合致する取組
	主な施設・資源
	将来像の実現における問題・課題

【出典】「国土数値情報(バスルート、バス停留所、鉄道、行政区域データ)」(国土交通省)を加工して作成。「地理院地図(Vector(仮称)提供実験)」(国土地理院)のデータをもとに、コンサベーションGISコンソーシアムが作成したデータ(道路中心線2020)を表示。

バスカルテ		1便あたり利用者数		平均乗車密度		最大乗車人員		収支率		利用者1人あたりの行政負担額	
		【基準】3人以上	○	【基準】2人以上	○	【基準】10人以上	○	【基準】40%以上 ※コミュニティバス20%以上	○	【基準】1,200円以下	○
八木新宮線	令和5年度	27.3	○	5.4	○	15	○	43.7	○	1,569	○
	令和4年度	26.0	○	5.0	○	39	○	44.7	○	1,574	○
五條・十津川地域連携コミュニティバス	令和5年度	7.6	○	1.3	×	16	○	22.3	○	2,947	×
	令和4年度	8.1	○	1.2	×	33	○	21	○	2,786	×

住民向けの取組

取組名	幹線系統とデマンドバスとのアクセス確保
取組内容	・幹線系統につながるデマンドバスを運行することにより、より便利に移動ができるような仕組みづくりを検討・実施
実施主体・協力主体	野迫川村、奈良県
実施効果	バス利用者増加
実施期間	R5.4～

取組名	住民の公共交通の認知度向上による利用促進
取組内容	・乗り案内を作成・配布及び広報誌などを活用した地域住民への公共交通の情報提供を実施し、公共交通について認知度の向上を目指す
実施主体・協力主体	五條市、野迫川村、十津川村、大淀町、奈良県、奈良交通
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	R5.4～

取組名	住民向けのモデルルートを作成・展開
取組内容	・病院、買い物にて公共交通の利用を促進するため、どの時間にバスに乗り、用事を済ませ、どの時間のバスに乗れば何時に帰宅できるといった住民向けのモデルコースを作成・展開
実施主体・協力主体	五條市、野迫川村、十津川村、大淀町、奈良県、奈良交通
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	R5.4～

取組名	五條市利便増進実施計画に基づくコミュニティバス等の運行継続
取組内容	・「五條市地域公共交通利便増進実施計画」に基づき、五條バスセンターを結節点としたコミュニティバス・予約制乗合タクシーの運行を継続
実施主体・協力主体	五條市、奈良交通、五條二見交通、野原タクシー（五條市内タクシー会社）、奈良県、国
実施効果	公共交通の利便性向上、公共交通利用者数の増加
実施期間	R4.9～

取組名	デジタル技術を活用した新たな公共交通サービスの導入の検討
取組内容	・高齢化が進む山間地域の永谷地区において、ラストワンマイルを担う新たな移動サービス（カート型とパーソナルモビリティ）の導入を検討 ・検討の結果、短期的な取組として、コミュニティバス等既存公共交通の導入で調整中。
実施主体・協力主体	五條市、県
実施効果	公共交通の利便性向上
実施期間	R4.10～

取組名	コミュニティバスデータのGTFS化に伴うオープンデータ化及び住民への周知
取組内容	・令和4年度に県で整備したコミュニティバスデータのGTFSデータ化を活用し、各種検索サイトへのデータ提供や、住民へのPRの実施
実施主体・協力主体	五條市、野迫川村、大淀町、奈良県
実施効果	コミュニティバスの利用者増加
実施期間	R5.4～

取組名	自動継続型金額式ICカード定期券「CI-CA plus」の利用促進
取組内容	・令和5年3月より販売を開始している自動継続型金額式ICカード定期券「CI-CA plus」の普及のためのPRを実施 ・コミュニティバスに活用する取組を検討・実施
実施主体・協力主体	奈良交通
実施効果	バス利用者増加、それに伴う鉄道利用者増加
実施期間	R5.3～

取組名	中心市街地地区のまちづくりの検討
取組内容	イオン五條店、五條バスセンターを含めた中心市街地のまちづくりについて、地域の活性化やにぎわいの創出を目指し、実施主体が相互に協力しながら検討を進める
実施主体・協力主体	五條市、奈良交通、商業施設、南都銀行
実施効果	公共交通の利便性向上、公共交通利用者数の増加
実施期間	R4.12～

取組名	移動販売車による山間地域の買物支援
取組内容	買物が困難となっている山間地域において、高齢者に向けた暮らしのサポートとして、宅配サービス事業者と連携し、コミュニティバス等の運行と連動した移動販売車による買物支援を行い、地域住民の福祉の向上を図る
実施主体・協力主体	五條市
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	R4.12～

観光客向けの取組

取組名	十津川村周遊観光バス運行事業
取組内容	・各観光名所を巡れる周遊観光バスを運行する。
実施主体・協力主体	十津川村、奈良県
実施効果	公共交通利用者数の増加、宿泊客の増加
実施期間	R6.4～

取組名	旧城戸駅舎周辺の魅力向上及び周遊観光の促進
取組内容	・「幻の五新鉄道跡」である旧路線バス専用道及び西吉野町城戸地内にある「城戸駅舎」を活用し、エリアの魅力向上及び観光客誘致を図るとともに、周遊性確保の取組を検討・実施
実施主体・協力主体	五條市、NPO法人、奈良県
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	R5.4～

南部Cグループ

(関係市町村:大淀町、下市町、黒滝村、天川村)

路線・地域の概要

- **関係市町村**
大淀町、下市町、黒滝村、天川村
- **主な公共交通機関**
 - 近鉄 吉野線
 - 奈良交通(八木下市線 下市笠木線 下市天川線 洞川線)
 - その他コミュニティバス:よどりバス(大淀町)、黒滝ふれあいバス、スクールバスほほえみ号(天川村)
 - デマンド交通:よどりタクシー(大淀町)
- **主な利用データ**
 - 近鉄下市口駅 乗車人数 2,153人/日(R4)
 - 奈良交通八木下市線:5診断指標のうち、1便あたり利用者数、平均乗車密度、最大乗車人員、収支率の4項目が未達成(R5)
 - 奈良交通下市天川線:5診断指標達成(R5)
 - 奈良交通洞川線:5診断指標達成(R5)

- **関係情報**
 - 下市町、黒滝村、天川村では、村外への通院タクシー料金の一部を助成
 - 下市口駅でよどりバスに乗り継ぐことにより「南奈良総合医療センター」へのアクセスが可能
 - 空き校舎となる下市南小学校を利用して、民間と連携した観光施設「KITO」が令和6年7月にオープン予定
 - 空き校舎となる下市中学校を利用して地域交流拠点「下市集学校」が令和5年9月にオープン
 - プレオープンにあわせ、乗車券の配布を実施
 - 令和6年4月から5月頃に観光案内、現地ツアーの発着点となる洞川温泉ビジターセンターが開業予定
 - 下市町では免許返納をした方に奈交バスの路線バス乗車券を配布(R4:200円×780枚)
 - 県では黒滝村のコミュニティバスにおけるクロスセクター効果の算定を実施

- **令和9年度に目標とすべき状況(主な評価指標)**
 - 八木下市線:診断指標5項目の達成

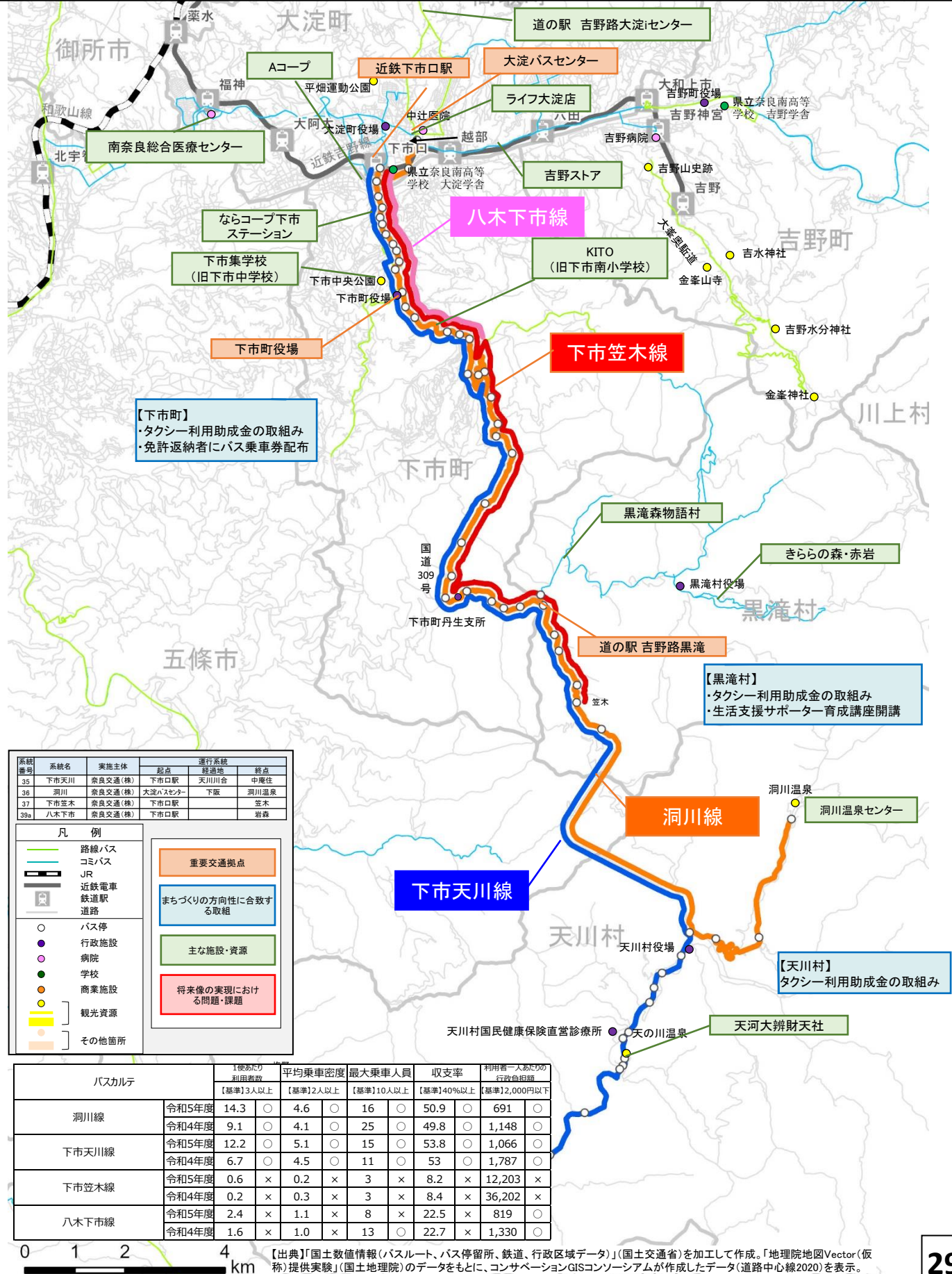
本エリアにおける公共交通の位置付けと課題

- 【位置付け】
 - 洞川温泉、黒滝森物語村、天河大辨財天社等、県内外から訪れる観光資源がある
 - 地域住民、特に免許を返納した高齢者等の通院(主に南奈良総合医療センター)や買い物に不可欠な移動手段
- 【課題】
 - 自治体や事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持改善事業により運行を確保・維持する必要がある
 - 観光客が、コロナ禍により大幅に落ち込んでいる
 - 多くの観光客が自家用車で来訪しており、公共交通利用への仕掛けが必要
 - 観光客は天川村を訪れ、下市町、黒滝村は通過するだけとなっている
 - 南奈良総合医療センターへの移動は専ら自家用車となり、公共交通の利用が少ない

取組の方向性

- 住民向け—
- 【目標】通院・買い物等、必要な用事を車がなくても便利に
- 住民のニーズ把握とそのニーズに応じた交通モードの導入
- タクシーと路線バスの連携により、商業施設や中核病院へのアクセスの向上を検討
- 路線バス・コミュニティバス等のダイヤや利用方法について効果的な広報の実施
- 観光客向け—
- 【目標】公共交通を利用した滞在型観光のための取組実施
- 観光施設・公共交通が連携した滞在プラン・観光モデルルートへの企画・周知
- 公共交通の利用に繋がる観光イベントの企画・発信を強化
- 天川村を訪れた人に路線バス沿線町村のPRの実施

まちづくりの方向性(イメージ図)



路線番号	系統名	実施主体	運行系統		
			起点	経路地	終点
35	下市天川	奈良交通(株)	下市口駅	天川川合	中庵住
36	洞川	奈良交通(株)	大淀バスセンター	下飯	洞川温泉
37	下市笠木	奈良交通(株)	下市口駅		笠木
38a	八木下市	奈良交通(株)	下市口駅		岩森

凡例	例
路線バス	重要交通拠点
コミュニティバス	まちづくりの方向性に合致する取組
JR	主な施設・資源
近鉄電車	将来像の実現における問題・課題
鉄道駅	
道路	
バス停	
行政施設	
病院	
学校	
商業施設	
観光資源	
その他箇所	

バスカルテ		1便あたり利用者数		平均乗車密度		最大乗車人員		収支率		利用者一人あたりの行政負担額	
		【基準】3人以上	○	【基準】2人以上	○	【基準】10人以上	○	【基準】40%以上	○	【基準】2,000円以下	○
洞川線	令和5年度	14.3	○	4.6	○	16	○	50.9	○	691	○
	令和4年度	9.1	○	4.1	○	25	○	49.8	○	1,148	○
下市天川線	令和5年度	12.2	○	5.1	○	15	○	53.8	○	1,066	○
	令和4年度	6.7	○	4.5	○	11	○	53	○	1,787	○
下市笠木線	令和5年度	0.6	×	0.2	×	3	×	8.2	×	12,203	×
	令和4年度	0.2	×	0.3	×	3	×	8.4	×	36,202	×
八木下市線	令和5年度	2.4	×	1.1	×	8	×	22.5	×	819	○
	令和4年度	1.6	×	1.0	×	13	○	22.7	×	1,330	○

【出典】「国土数値情報(バスルート、バス停留所、鉄道、行政区画データ)」(国土交通省)を加工して作成。「地理院地図Vector(仮称)提供実験」(国土地理院)のデータをもとに、コンソーシアムGISコンソーシアムが作成したデータ(道路中心線2020)を表示。

: 重点取組事項

住民向けの取組

観光客向けの取組

取組名	下市中学校空き校舎を活用した地域交流拠点と公共交通の連携
取組内容	・下市中学校の空き校舎を活用し、令和5年9月にオープンした地域交流拠点として整備した施設に公共交通で来訪いただけるような取組として、公共交通で来訪された方に、帰りもしくは次の交流拠点までの乗車券の配布を行う
実施主体・協力主体	下市町、奈良県、奈良交通
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	R5.4～

取組名	コミュニティバスデータのGTFS化に伴うオープンデータ化及び住民への周知
取組内容	・令和4年度に県で整備したコミュニティバスデータのGTFSデータ化を活用し、各種検索サイトへのデータ提供や、住民へのPRの実施
実施主体・協力主体	大淀町、奈良県
実施効果	コミュニティバスの利用者増加
実施期間	R6.4～

取組名	令和6年度オープン予定の下市南小学校空き校舎を活用した観光施設と公共交通の連携
取組内容	・令和6年度に下市南小学校の空き校舎を活用し、民間と連携した観光施設がオープンするのに合わせ、路線バスの乗り入れや、公共交通で来訪いただけるような取組の検討を実施
実施主体・協力主体	下市町、奈良県、奈良交通
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	R5.4～

取組名	住民向けのモデルルートの作成・展開
取組内容	・病院、買い物にて公共交通の利用を促進するため、どの時間にバスに乗り、用事を済ませ、どの時間のバスに乗れば何時に帰宅できるといった住民向けのモデルコースを作成・展開
実施主体・協力主体	大淀町、下市町、黒滝村、天川村、奈良県
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	R5.4～

取組名	令和6年度オープン予定の洞川温泉ビジターセンターと公共交通の連携
取組内容	・令和6年度に現在の洞川温泉横に洞川温泉ビジターセンターがオープンするのに合わせ、新たなバス停の設置検討や、公共交通で来訪いただけるような取組の検討を実施
実施主体・協力主体	天川村、奈良県、奈良交通
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	R5.4～

その他の取組

取組名	住民の公共交通の認知度向上による利用促進
取組内容	・乗り方案内や自由乗降の案内等を作成・配布及び広報誌などを活用した地域住民への公共交通の情報提供を実施し、公共交通について認知度の向上を目指す
実施主体・協力主体	大淀町、下市町、黒滝村、天川村、奈良県、奈良交通
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	R5.4～

取組名	貨客混載の取組強化
取組内容	・奈良交通洞川線において貨客混載の取組を強化する。
実施主体・協力主体	奈良交通、県
実施効果	バスの生産性向上、物流網の効率化
実施期間	R5.4～

取組名	観光客向けモデルルート作成及び観光PRの実施
取組内容	・各観光施設等にバスの便と便との間で散策しながら天川村まで行くモデルルートの作成 ・デジタル技術等を活用した効果的な周知方法の検討・実施
実施主体・協力主体	大淀町、下市町、黒滝村、天川村、奈良県
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	R5.4～

取組名	自動継続型金額式ICカード定期券「CI-CA plus」の利用促進
取組内容	・令和5年3月より販売を開始している自動継続型金額式ICカード定期券「CI-CA plus」の普及のためのPRを実施 ・コミュニティバスに活用する取組を検討・実施
実施主体・協力主体	奈良交通
実施効果	バス利用者増加、それに伴う鉄道利用者増加
実施期間	R5.3～

○南部Cにおける重点取組事項について

○観光客向けモデルルート作成及び観光PRの実施

重点取組事項のねらい	これまで天川村にしか訪れていなかった観光客を観光モデルルートを作成し発信することで、大淀町、下市町、黒滝村の魅力的なスポットに呼び込むことで公共交通を利用する観光客の増加を図る
実施効果	公共交通の観光利用増および周辺地域のにぎわい創出
活用する支援制度	公共交通基本計画推進支援事業

		1年目(R6)	2年目(R7)	3年目(R8)～
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> 観光スポットの洗い出し バスのダイヤ状況確認し、散策可能時間を把握 散策可能時間と観光スポットをあわせ、具体的なルートを検討 必要に応じて他の交通モードの追加を検討 地図に落とし込み、マップを作成 広報先の整理 アンケート調査の内容・手法検討 観光部局との調整 インセンティブの検討 観光客向けモデルルートの発信(R6.10～) 	<ul style="list-style-type: none"> 観光客向けモデルルートの発信 広報活動 利用実態調査 利用者の声・アンケート調査 	<ul style="list-style-type: none"> 観光客向けモデルルートの発信【継続】 広報活動の実施 利用者の声、アンケート調査結果分析 次年度以降の事業について検討
役割分担 (※1:実施主体)	奈良県	<ul style="list-style-type: none"> 全体の進捗管理 アンケート調査の内容・手法検討 観光部局との連絡調整 インセンティブの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 全体の進捗管理 広報活動の実施 アンケート調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 全体の進捗管理 利用促進策に対する支援 広報活動の実施 アンケート調査結果分析 次年度以降の事業について検討
	※1 大淀町 下市町 黒滝村 天川村	<ul style="list-style-type: none"> 路線周辺の観光スポットの洗い出し バス停、観光スポット間や各観光スポット間の移動時間のと移送手段の検討 アンケート調査の手法検討 地図に落とし込み、マップを作成 広報先の整理 観光部局との調整 インセンティブの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 広報活動の実施 アンケート調査の実施 利用者の声調査 	<ul style="list-style-type: none"> 広報活動の実施 特典付与等利用促進策の実施 マップを活用したさらなる利用促進の実施
	交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> よく訪れる観光スポット情報の提供 インセンティブにおける対応方法の検討 観光スポットの音声案内検討 	<ul style="list-style-type: none"> 路線の利用データの整理・分析(バス事業者) 広報活動の実施 口コミ確認 アンケート調査の協力 	<ul style="list-style-type: none"> 路線の利用データの整理・分析(バス事業者) 広報活動の実施
関係する補助		公共交通基本計画推進支援事業	公共交通基本計画推進支援事業	公共交通基本計画推進支援事業

南部Dグループ

(関係市町村：吉野町、大淀町、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村)

路線・地域の概要

- **関係市町村**
吉野町、大淀町、下北山村、上北山村
川上村、東吉野村
- **主な公共交通機関**
 - ・近鉄 吉野線
 - ・南部地域連携コミュニティバス(ゆうゆうバス)
 - ・コミュニティバス:スマイルバス(吉野町)、やまぶきバス(川上村)、よどりバス(大淀町)、ふるさと号(東吉野村)、上北山村コミバス、しもきた号(下北山村)
 - ・デマンド交通:よどりタクシー(大淀町)
- **主な利用データ**
 - ・近鉄福神駅 乗車人員 2,154人/日(R4)
 - ・近鉄大和上市駅 乗車人員 349人/日(R4)
 - ・近鉄下市口駅 乗車人員 2,153人/日(R4)
 - ・南部地域連携コミュニティバス:5診断指標のうち、平均乗車密度、最大乗車人員、利用者1人あたりの行政負担額が未達成(R3~)

- **関係情報**
- 【吉野町】
 - ・令和4年度にデマンドバス(スマイルバス)の本格運行を行い、デマンドバス、路線バスを含め、最適な交通体系の検討を実施
 - ・観光者向け2次交通として電動バイク11台購入
 - ・宮滝遺跡公園整備中
 - ・令和4年4月に新たなサテライトオフィス「YOSHINO GATEWAY」がオープン
- 【上北山村】
 - ・村内コミバスを再編
 - ・ヒルクライム大台ヶ原は、村人口より多くの人々が訪れる自転車ロードレース
- 【川上村】
 - ・デマンド乗合タクシーニコニコ号に新車両を導入し、運行エリアを村内全域に拡大(R4~)

令和9年度に目標とすべき状況

- ・南部地域連携コミュニティバス、よどりバス、やまぶきバス:診断指標5項目の達成
- ・よどりバス、やまぶきバス:個別に定めた目標値の達成

本エリアにおける公共交通の位置付けと課題

【位置付け】

- 南部地域連携コミュニティバス、よどりバス、やまぶきバスを運行し、地域内や広域の移動手段を提供しており、地域の足として必要不可欠な路線となっている
- 沿線に観光地が点在しており、観光需要も見込める

【課題】

- 自治体や事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持改善事業により運行を確保・維持する必要がある
- 自家用車を利用できない人の移動ニーズを満足する交通手段の提供が必要
- 特別乗車券やコミュニティバスを利用した観光など、情報発信の工夫が必要
- 運賃収入以外の収益源の確保についても検討する必要がある

取組の方向性

—住民向け—

【目標】通院・買い物等、必要な用事を車がなくても便利に

- 住民のニーズ把握とそのニーズに応じた交通モードの導入
- 無人駅の活用方法の検討・実施

—観光客向け—

【目標】公共交通を利用した観光のための取組実施

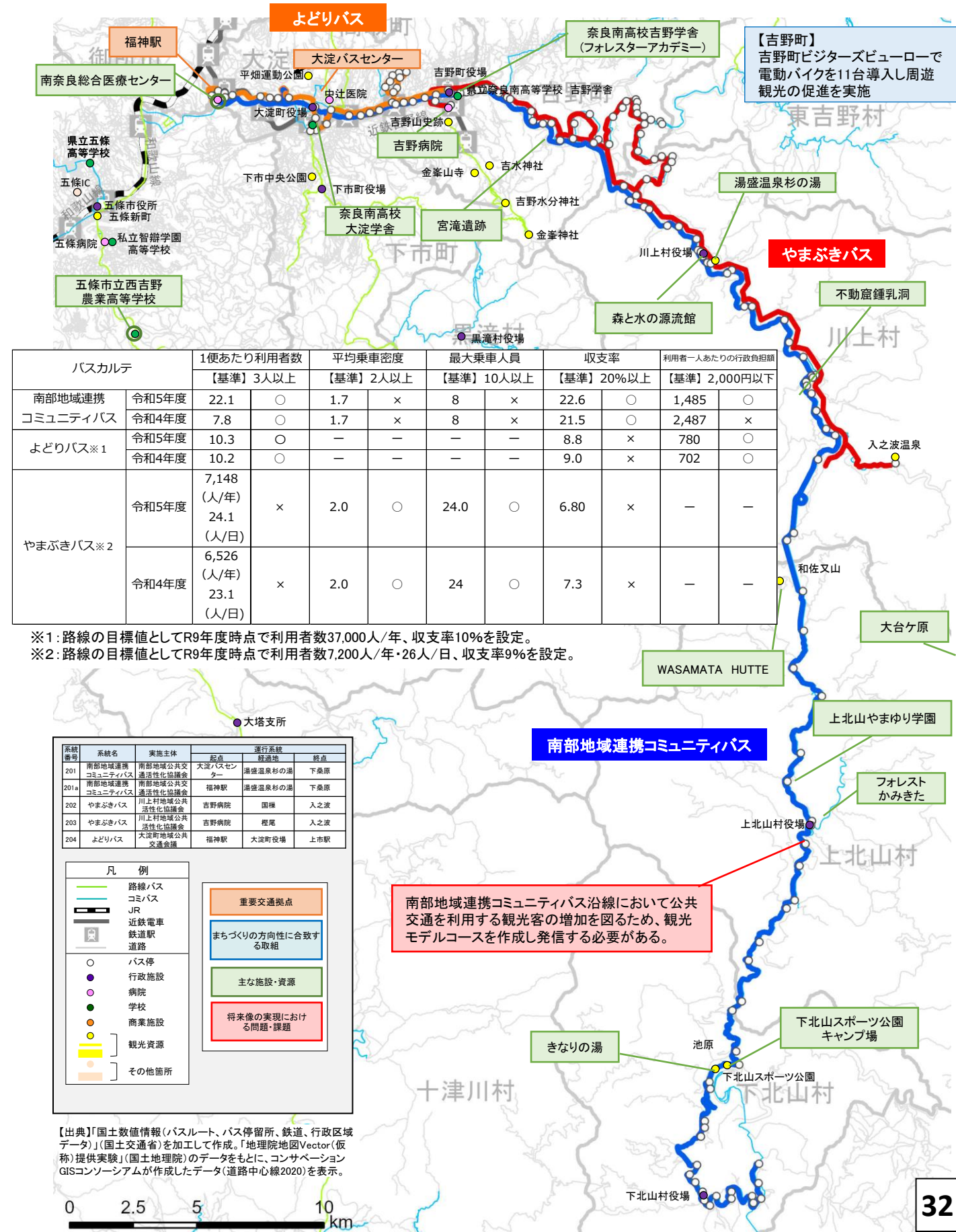
- 滞在型観光を視野にいたれた公共交通を利用した観光モデルルート of 立案・周知
- 観光地・温泉施設等と連携した公共交通利用促進策の検討・実施
- 観光地から村中心地に来訪者を引き込む取組の実施

—その他—

【目標】ゆうゆうバスで運賃収入以外の収益源を確保し、収支改善や地域の魅力発信を実現する。

- 車体へのラッピング広告による地域情報の発信
- 貨客混載による地域の特産品の販路拡大

まちづくりの方向性(イメージ図)



系番号	系統名	実施主体	運行系統	起点	経遊地	終点
201	南部地域連携コミュニティバス	南部地域公共交通活性化協議会	大淀バスセンター	湯盛温泉杉の湯	下桑原	
201a	南部地域連携コミュニティバス	南部地域公共交通活性化協議会	福神駅	湯盛温泉杉の湯	下桑原	
202	やまぶきバス	川上村地域公共交通活性化協議会	吉野病院	園棟	入之波	
203	やまぶきバス	川上村地域公共交通活性化協議会	吉野病院	尾尾	入之波	
204	よどりバス	大淀町地域公共交通協議会	福神駅	大淀町役場	上市駅	

【出典】「国土数値情報(バスルート、バス停留所、鉄道、行政区画データ)」(国土交通省)を加工して作成。「地理院地図Vector(仮称)提供実験」(国土地理院)のデータをもとに、コンソーシアムGISコンソーシアムが作成したデータ(道路中心線2020)を表示。

: 重点取組事項

住民向けの取組

観光客向けの取組

その他の取組

取組名	鉄道駅舎の利活用
取組内容	・吉野町、奈良県、近鉄で駅舎利活用について意見交換を実施し、駅舎の利活用に向けた取組を検討・実施
実施主体・協力主体	吉野町、大淀町、奈良県、近畿日本鉄道
実施効果	無人駅等における安心・安全や利便性の確保
実施期間	R4.11～

取組名	電動バイクの活用による周遊促進
取組内容	・観光者向け2次交通として、観光庁補助事業を活用して電動バイクを導入し、観光地間の周遊促進を図る
実施主体・協力主体	一般社団法人吉野ビジターズビューロー
実施効果	公共交通を利用した観光周遊の促進
実施期間	R5.2～

取組名	地域情報の発信による公共交通の利用促進
取組内容	・地域の情報を様々な媒体で発信し、沿線地域の知名度を向上させ、公共交通の利用者拡大を図る
実施主体・協力主体	南部地域連携協議会
実施効果	沿線地域の知名度向上、広告収入による収支改善
実施期間	R4.9～

取組名	村内コミュニティバスの再編
取組内容	・上北山村内のコミュニティバスの利用状況を踏まえた運行形態等を検討し、村内コミュニティバスの再編に向けた取組を検討・実施
実施主体・協力主体	上北山村、奈良県
実施効果	住民の移動ニーズに応じた公共交通の実現
実施期間	R4.9～

取組名	観光モデルコースの発信による観光の公共交通利用促進
取組内容	・ゆうゆうバスを利用した観光のモデルコースを作成するとともに、公共交通を利用した観光客に対し、温泉等施設の特典付与等により利用促進を図る
実施主体・協力主体	吉野町、大淀町、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村、奈良県、交通事業者、バス協会
実施効果	観光客の公共交通利用増
実施期間	R4.12～

取組名	新たな貨客混載の実施
取組内容	・近鉄やバス等において、沿線地域の特産品等を都市部へ運ぶ「貨客混載」を実施し、新たな需要開拓と荷物搬送の効率化を図る取組を検討
実施主体・協力主体	吉野町、大淀町、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村、奈良県、交通事業者、生産者
実施効果	特産品の販路拡大、鉄道やバスの収支改善
実施期間	R5.4～

取組名	町内公共交通の再編
取組内容	大淀町内の公共交通利用状況や住民アンケート結果等を踏まえた運行形態等を検討し、町内コミュニティバス・デマンド交通の再編に向けた取組を検討・実施
実施主体・協力主体	大淀町
実施効果	住民の移動ニーズに応じた公共交通の実現
実施期間	R4.8～

取組名	観光地と地域を結ぶ公共交通の確保
取組内容	・観光スポットと村の中心部(例:大台ヶ原～上北山村内、前鬼～下北山村内)を結ぶ公共交通が乏しいため、村に来た観光客に中心部へも足を運んでもらうための方策を検討・実施
実施主体・協力主体	上北山村、下北山村、奈良県
実施効果	観光客の滞在時間増による地域振興
実施期間	R5.4～

取組名	サイクルトレイン導入による公共交通の利用促進
取組内容	・近鉄吉野線において、新たな交通モードが提供できるよう、サイクルトレインの導入に向けた取組を検討
実施主体・協力主体	吉野町、大淀町、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村、奈良県、交通事業者
実施効果	複合的な交通サービスの展開による利用促進
実施期間	R5.4～

取組名	コミュニティバスデータのGTFS化に伴うオープンデータ化及び住民への周知
取組内容	・令和4年度に県で整備したコミュニティバスデータのGTFSデータ化を活用し、各種検索サイトへのデータ提供や、住民へのPRの実施
実施主体・協力主体	大淀町、上北山村、川上村、東吉野村、奈良県
実施効果	コミュニティバスの利用者増加
実施期間	R5.4～

○南部Dにおける重点取組事項について

○ 観光モデルコースの発信による観光の公共交通利用促進

重点取組事項のねらい	南部地域連携コミュニティバス沿線において、観光モデルコースを作成し発信することで、公共交通を利用する観光客の増加を図る
実施効果	南部地域連携コミュニティバスをはじめとする公共交通の観光利用増
活用する支援制度	運輸事業振興助成交付金、公共交通基本計画推進支援事業

		1年目(R5)	2年目(R6)	3年目(R7)～
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> 観光モデルコースの内容検討 マップ化へ向けたデザイン、レイアウト等の調整(県→バス協会の運輸事業振興助成交付金の活用を想定) 特典等の内容・付与方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 観光周遊マップの発行 利用実態調査 広報活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> マップを活用したさらなる利用促進の実施 利用実態調査 広報活動の実施
役割分担 (※1:実施主体)	奈良県	<ul style="list-style-type: none"> 全体の進捗管理 バス協会への交付金事業実施 	<ul style="list-style-type: none"> 全体の進捗管理 利用促進策に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> 全体の進捗管理 利用促進策に対する支援
	※1 大淀町 吉野町 川上村 下北山村 上北山村	<ul style="list-style-type: none"> 各町村における観光モデルコースの検討 モデルコース発信に係る観光部局との調整 特典付与等に係る温泉等関係施設との調整 	<ul style="list-style-type: none"> 広報活動の実施 特典付与等利用促進策の実施 マップを活用したさらなる利用促進の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 広報活動の実施 特典付与等利用促進策の実施 マップを活用したさらなる利用促進の実施
	交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> 特典付与等における対応方法の検討 例)バス車内で乗車証明を発行できるかetc. 	<ul style="list-style-type: none"> 路線の利用データの整理・分析(バス事業者) 広報活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 路線の利用データの整理・分析(バス事業者) 広報活動の実施
	奈良県 バス協会	<ul style="list-style-type: none"> マップ発行に向けての調整 	<ul style="list-style-type: none"> マップの配布、情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> マップの配布・増刷等の調整、情報発信
関係する補助		<ul style="list-style-type: none"> 運輸事業振興助成交付金 	<ul style="list-style-type: none"> 運輸事業振興助成交付金 	<ul style="list-style-type: none"> 運輸事業振興助成交付金 公共交通基本計画推進支援事業

運行年度は、前年10月～当年9月